

O.U.P.スポーツアカデミー 始動に向けた 新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症対策本部の発表により、各スポーツ団体等にガイドラインを作成するなど、自主的な感染防止のための取組を進めることが求められた。また、日本ラグビーフットボール協会よりラグビートレーニング再開に関するガイドラインに沿い、ラグビー活動を安全に行えることを目指してガイドラインを作成いたしました。

2. O.U.P.スポーツアカデミー始動にあたっての基本的な考え方

O.U.P.スポーツアカデミー 始動にあたり、まずは福岡県の方針に従うことが大前提であり、その方針に従うこととする。

3. O.U.P.スポーツアカデミー開催・実施時の感染予防策について

参加者がアカデミーに安全・安心に参加できるよう、福岡県の方針に反しないことを前提として、運営に当たり留意すべき事項を取りまとめたものです。各事項については、チェックリスト化（※別添1）し、適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示するとともに、各事項がきちんと遵守されているか定期的に巡回・確認することにより、主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組みます。

(1) 参加募集時の対応

参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めます。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、当アカデミーへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知します。参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

①以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（開催当日に書面で確認を行う）。

ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をしている際にはマスクを着用すること。)

- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④他の参加者、主催者スタッフ等の距離（できるだけ2 m 以上）を確保すること。
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦アカデミー終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

アカデミー当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全にアカデミーを開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行います。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること。（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる。）
- ③ 人と人が対面する場所は、可能であれば、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること。

(3)参加者への対応

1) 体調の確認

アカデミー当日に参加者より以下の事項を記載した書面の提出を求めます。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する。
- ② アカデミー当日の体温
- ③ アカデミー前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳、喉の痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 臭覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触者がある場合

2) マスク等の準備

参加者がマスクを準備しているか確認します。運動中は、マスクの着用は、しないものの、受付時や、着替えなど運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、基本マスクの着用を求めます。

3) アカデミー参加前後の留意事項

アカデミー参加者は、アカデミー前後のミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮します。

(4) 準備等すべき事項

1) 手洗い場所

参加者がアカデミー開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保します。

- ① 手洗い場には、石鹸（ポンプ式等）を極力用意します。
- ② 「手洗いは 30 秒以上」等周知します。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えます。
（参加者にマイタオルの持参を案内します。）
- ④ アルコール等の手指消毒剤も用意することを検討します。

2) 更衣室、休憩・待機室スペース

更衣室、休憩・待機室スペースは、感染リスクが比較的高いと考えられるため、基本的に外で着替えるよう参加者へ案内する。もしくは、自宅で着替えてきてもらうよう案内する。

一時的な休憩、もしくは待機する場合は、以下に配慮して準備します。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。（障がい者の介助を行う場合を除く。）
- ② 休憩する場合もこちらでコントロールし、参加者同士が重ならないようにする。

3) 洗面所

洗面所（トイレ）についても感染のリスクが比較的高いと考えられる。

アカデミー参加者が利用する洗面所（トイレ）について以下に配慮して管理します。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒をします。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう掲示する。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ式等）を用意します。
- ④ 「手洗いは 30 秒以上」等周知します。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えます。
（参加者にマイタオルの持参を案内します。）

4) 飲食物の提供について

基本飲食物の提供は行わない。参加者に事前に水筒等各自持参するよう案内する。
もし提供する際は、以下に配慮して行います。

- ① 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声かけをする。
- ② スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトルなど使い捨ての紙コップ等にて提供する。
- ③ 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行います。
- ④ 飲食物を取り扱うスタッフには、マスクを着用させる。

5) 観客の管理

保護者等観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、予め案内し、対応します。
また、大声で声援を送らないことや会話を控えること、マスクを着用すること等の留意事項を周知します。

6) ゴミの廃棄

基本ゴミが出た場合は、各自で持ち帰ることを前提とする。

ゴミが落ちていた場合は、ビニール袋に入れて密閉して縛る。ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用します。またマスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒します。

(5) 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

アカデミー参加者に対し、以下の留意点や利用者が遵守すべき内容を周知・徹底します。

① 十分な距離の確保

運動・スポーツの内容に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から周囲の人となるべく距離(※)を空けます。

強度が高い運動の内容であれば、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けます。

※感染予防の観点からは、少なくとも2Mの距離を空けることを意識する。

②位置取り

走る内容であれば、前の人の呼吸の影響を避けるため、横一列で行うよう位置取りを行う。

② その他

ア 運動・スポーツ中に唾や痰を吐くことを極力行わないこと。

イ タオルの共用は行わないこと。

ウ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。また同じトング等の大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。

エ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。(基本的に、各自で持ち帰らせます)

(6) その他の留意事項

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、アカデミー当日に参加者より提出を求めた書面について、少なくとも1ヶ月以上を保存期間とし、保存します。

また、アカデミー終了後に、参加者より新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、参加者の地域圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、様々な関係各所と連携を図り、対応していきます。

(以上)

O.U.P スポーツアカデミー
マネージャー 築城昌拓